

歌唱よりの歌詞聞きとりについての試み

— 日 本 歌 曲 II —

伊 藤 和 子
中 村 直 子

日本の歌曲・歌劇などで歌われていることばの、ききとり難いことがいわれており、^{注1}その原因についても考えられ、歌う際の工夫などもされている。^{注2}我々は多少なりともより美しく、より快く聴かれるものでありたいと思う。レコードの歌についての聞きとり調査に於て、^{注3}とにかく一種の傾向のようなものは得られそうな状態であったので、他に手をつけることの出来るものがあれば、それぞれの際の結果を見直すことも含めて、同じ方法で行ってみることにした。

歌曲を構成するものはことばとしての歌詞の外に旋律がある。歌唱か、特に日本語の場合に技術・習練を要するむずかしいものであるということになれば、歌詞ならびに旋律の表現を歌いやすく、即ち聞きとられやすくしておく必要がある。以上の観点から今回は歌詞と旋律との関係とそれに対する聞きとりをみとめることにした。

同じ歌詞に対して二つ以上の異なった曲がつけられているものがある。逆に同一の曲に対し異なる歌詞を持つものがある。一応の調査の結果、前者には十三、後者には五十六を得たのであるが、前者は民謡の関係のものや童謡が殆どで、二・三を除いては、曲は記憶して歌うことが出来ても楽譜が手に入らない。後者は殆どが訳詞で、明治の古いものなど原詩とは全くことなる意味のことばがつけられていたり、同じ訳詩者が二種類の歌詞をつけている場合もある。よってことばの音のみの聞きとりの比較対象としては

扱って得ても、当然、文脈・文意などが持たれなければならない歌詞については、不相当とみななければならないことになる。よって前者同一歌詞に対して二つの曲を持つ「砂山」と、同一の原詩による二つの曲を持つ「野ばら」を同じ訳詩で歌った場合をみることにした。歌詞の内容が少々単純にすぎることがあるので、予備調査に使用するつもりで行ったのであるが、一応の傾向めいたものが見られるようではあるし、同一曲に対する異なる歌詞の場合の選曲が非常に困難であったので、後で補充調査を考えることとして、今回はまとめておくことにする。

被験者、歌唱者、その他は次のとおりである。

・被験者

東海女子短期大学児童教育学科1年

体育・美術コース 31名

〃 英文科1年 33名

・歌唱者

東海女子短期大学児童教育学科2年

国語コース 1名（音楽をとっている）

・方法

50名用の教室の教卓にテープレコーダーを置き、ヴォリュームその他を聞きやすいように調節し、テープレコーダーをまわし、聞きながら書いてゆく。

その他、最初5月末か6月初旬を予定していた。歌詞の関係があるので、5月の連休直後、「好きな歌」「よく歌う歌」の題名をあげさせ、それらの歌詞を書かせてみた。結果は後記の通

砂 山

SASDRAC

北原白秋 作詞
山田耕符 作曲

そばくに ♩ = 69

うみは あらうーみ むこうは きーどーよ
すずめ なけなけ もうひは くれた
みんな よべよべ おほしきーまー でたぞ

砂 山

SASDRAC

北原白秋 作詞
中山晋平 作曲

野趣あるように

うみは あらー う み むこーう は
きーどーよ すずめなーけー な け
も うーひ は くーれ た みんなよ べ
よ べ おほしきま でーたーぞ

りで、^{注4}よくして語音の聞きとりが出来る程度かと考えられたので、後期に入り10月下旬に行うことにした。^{注5}歌唱者は女子の声楽家のレコードを扱う予定であったが、適当なものが見つからなかったため、音楽をとっている学生の中から、なるべく自然な発声・歌い方をする者を3名えらび、互に聞きやすく、よくわかることを目標として、高さその他もきめさせ、その中の1名のを録音して用いた。無伴奏である。

音響の関係は対象の人数が多くなかったため、大体同一の音を聴き得る状態とみてよいと思われる。尚、歌の題名は示さず、無記名で予備調査であるから聴きとれた通りに一部分でも、一語でも書くようにと注意しておいた。但し、その歌を知っている、きいたことがある、知らない、の三種に分けて記入させた。

次に結果を示す。A・Cは英文科、B・Dは初等教育科のものである。被験者の人数より少な

	A (25名)			B (28名)		
	正	誤	無記	正	誤	無記
うみはあらうみ	22	2	1	20	3	5
——あらうみ		(2)				
うみ——					(3)	
むこうはさどよ	13	7	5	27	0	1
むこうは——		(6)				
むこうはさどや		(1)				
すずめなけなけ	8	9	8	12	8	8
——なけなけ		(3)			(6)	
もうひはくれた	20	2	3	13	4	11
もうひはくれる					(1)	
もうひがくれた		(1)				
みんなよべよべ	22	1	2	17	7	4
——よべよべ					(7)	
おほしさまでたぞ	6	16	3	6	20	2
おほしさまでたよ		(9)			(12)	
おほしさまでたと		(4)			(8)	
おほしさまでた		(2)				

いのは、「知っている」と記入し、殆ど誤なく書いている者を除いたからである。又、誤の中の大体2名以上同じものは、それぞれの句の下に示した。——線は無記入、「野ばら」の点線は別々の幾つかの語が示されていることを示す。—

以上、ことばのアクセント・イントネーションにそって旋律のつけられることが多いと思われる第一節のみで、しかもわかりやすいことばが多かったことによるものか、予想したよりは全体についてよく聴かれている。正しく聴きとられている句の数は

{ A 91	{ C 97
{ B 95	{ D 101

でほとんど差がないとみられるであろう。しかし、部分的にみた場合、

[砂山]	A	B
むこうはさどよ	13	27 (二句)
もうひはくれた	20	13 (四句)
みんなよべよべ	22	17 (五句)
[野ばら]	C	D
きよらにさける	23	15 (三句)
そのいろめでつ	2	10 (四句)

となっているのであって、差は認めざるを得ないことになる。

旋律をつけられる歌詞そのものの表現しようとする内容は一つであるから、その内容をあらかず旋律にあまり差があることはないであろう。しかし歌詞即ちことばの表現にその或る部分を負わせることが出来るし、ことばの表現を旋律によって補い得るものでもある筈である。した

ウェルナーの野ばら

Heidenröslein

近藤朔風 訳詞
ウェルナー 作曲

Andantino

わらべはみたりあれのの
Sah ein Knab' ein Rös-lein steh'n, Rös-lein auf der
ザー アインクナプアイン レス ラインシュテーン レス ラインアウフ デル

ばらあさとくきよく
Hei-den, war so jung und mor-gen-schön,
ハイ デン ヴァールゾー ユング ウント モル ゲン シェーン

うれしーやみんとはしりーよりぬ
lief er schnell, es nah' zu seh'n, sah's mit vie-len Freu-den.
リーフ エルシュネル エス ナー ツーゼーん ザース ミットフィー レン フロイ デン

ばらばらあかきあれののばら
Rös-lein, Rös-lein, Rös-lein rot, Rös-lein auf der Hei-den.
レスライン レスライン レスライン ロット レスラインアウフデル ハイ デン

シューベルトの野ばら

Heidenröslein

近藤朔風 訳詞
シューベルト 作曲

愛らしく ♩=69

わらべはみたりあなかのばら
Sah ein Knab' ein Rös-lein steh'n, Rös-lein auf der Hei-den,
ザー アインクナプアイン レス ラインシュテーンレスラインアウフデル ハイ デン

きよらにさけーるそのいろ
war so jung und mor-gen-schön, lief er schnell es
ヴァールゾー ユング ウント モル ゲン シェーン リーフ エルシュネル エス

めーでーつあかーずなーがーむ
nah' zu seh'n sah's mit vie-len Freu-den.
ナー ツーゼーん ザース ミットフィー レン フロイ デン

nach gebend wie oben
くれないにおーうあなかのばら
Rös-lein, Rös-lein Rös-lein rot Rös-lein auf der Hei-den.
レスライン レスライン レスライン ロット レスラインアウフデル ハイ デン

がってことばの音表現以外のものも加わって、歌詞はもう少し聴きとりに差が少なく、性格の異なるものを期待してみたのであるが、それらは無記入の中に含まれる結果になったのかも知れない。同じ歌詞に対し異なった曲がつけられているものは、歌詞の方に重きをおくものと、旋律の方に重きをおくものとに分けられるよりで

ある。但し、実際の演奏にあっては、前奏・関奏などもつくのであるから、又別のことも考えられよう。歌唱に於ては、単純な旋律のみによれば、それがかわれば、かなりの程度に於て、歌詞の理解に差の生じる可能性を考えておくことは必要であろう。

	C (29名)			D (29名)		
	正	誤	無記	正	誤	無記
わらべはみたり	15	2	12	19	7	3
——みたり		(2)				
のなかのばら	21	5	3	19	8	2
よなかのばら		(4)				
よなかのばらが		(1)				
——ばら					(3)	
のはらのばら					(2)	
きよらにさける	23	2	4	15	12	2
きよらにかける					(5)	
そのいろめでつ	21	17	10	10	17	2
そのいろめでし		(3)				
そのいろめでず					(5)	
そのいろめです		(2)				
あかずながむ	2	13	14	0	10	19
(あかず……)		(4)			(3)	
(あかる……)		(3)				
くれないにおう	15	10	4	16	9	4
くれないに—		(3)				
くれない——		(3)				
くれないによう					(3)	
——におう					(2)	
のなかのばら	19	6	4	21	5	3
よなかのばら		(2)				
——ばら		(3)				

(中村記)

注1. 最近のものでは、「西日本新聞」6月12日夕刊
「風車」など

注2. 四家文子「日本歌曲のすべて」P141以下。

注3. 東海女子短大紀要第六号

注4. 「好きな歌」「よく歌う歌」各三つ以内とそれらの
歌詞を書かせた。調査人員 80名

(東海女子短大、初等教育科1年)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 。好きな歌 | 。よく歌う歌 |
| BAN. BAN. BAN. (7名) | フレンズ(5)名 |
| 卒業(3) | 愛人(3) |
| <i>ff</i> フォルテンモ (3) | 恋におちて |
| April (3) | (<i>fall in love</i>)(3) |
| 六本木心中(3) | もしかしてpart II |
| ワインレッドの心(3) | (3) |
| | Desire(3) |
| 以下数の種類 22 | 以下歌の種類 21 |

好きな歌、よく歌う歌共に名前が書かれているもの
セカンドラヴ

ff フォルテンモ

歌詞を記したもの(一部分のものも含む) 17名

・但し、歌曲は歌とはことなるものと考えら
れているかも知れない。

注5. 児童教育学科は音楽が必修である。英文科を用
いたのはクラスの人数が適当であること。半年間
では体育・美術は音楽はあまりすまないの差
は殆ど問題にならない程度のように思われたこと
による。

(児童教育学科 音楽 伊藤)

(児童教育学科 国語 中村)